

5月下旬は高温傾向となり、一時停滞しました生育は、ほぼ平年並みに経過し、また、結実状況は、園地、品種格差はみられますが、着果量は比較的確保されております。摘果、新梢整理など管理作業は遅れないよう進めましょう。また、大石早生の収穫始めも平年並みが予想され（南部 6 月 30 日頃？）と思われます。今後の防除は、受粉樹への散布や死角がないよう徹底しましょう。（特にシンクイムシ類）

1. 薬剤散布 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい

《プラム》

・散布時期：	6 月中下旬	（6 月 18 日～6 月 22 日頃）	
・散布薬剤：	水	100ℓ当り	・散布日 6 月 日・散布量 ℓ
	（展着剤 10ml）		
	オンリーワンフロアブル	50ml	（収穫前日、3 回以内）
	サムコルフロアブル 10	40ml	（収穫 3 日前、3 回以内）
・対象病害虫：	灰星病、シンクイムシ類・（ケムシ類）		
・散布量：	10a 当り SS500ℓ 動噴 600ℓ （散布むらのないよう、十分に散布する）		
・注意事項	*シンクイムシ類の発生がある場合、アルバリン顆粒水溶剤 2000 倍（前日、3 回）を加用散布する。 *紅りょうぜん・秋姫・菅野中生で黒斑病（かいよう病）の発生がある場合は、バリダシン液剤 5 の 500 倍（14 日前、4 回）又は、スターナ水和剤 1000 倍（7 日前、3 回）を散布する。		

※シンクイムシ類—摘果の際、被害果がみられます。特に被害果は園外へ除去し処理をお願いします。
薬剤散布は、ムラの無いようたっぷりと散布しましょう！

○スモモヒメシンクイムシ発生状況	（ ）内、前回調査数
（各地区フェロモントラップ調査日：5/29）	— *上今井地区—0 頭↓（2） *草間—10 頭↓（59）
（前回フェロモントラップ調査日：5/22）	— *一本木—46 頭↑（27） *倭地区—41 頭↑（19）

《プラム》次回の散布（大石早生最終防除）散布は、収穫 3 日前までに必ず防除を終了する。

・散布時期：	6 月下旬～7 月初旬	（6 月 28 日～7 月 2 日頃）	
・散布薬剤：	水	100ℓ当り	・散布日 月 日・散布量 ℓ
	（展着剤 10ml ・ まくぴか 20ml）		
	ベルコートフロアブル	50ml	（3 日前、3 回以内）
	●バリアード顆粒水和剤	50g	（収穫前日、2 回以内）
・対象病害虫：	灰星病、（すす点病）、アブラムシ類、シンクイムシ類、モモノゴマダラメイガ		
・散布量：	10a 当り SS500ℓ 動噴 600ℓ （散布むらのないよう、十分に散布する）		
・注意事項	*展着剤は、ハイテンパワーかシリコーン系展着剤まくぴか 5000 倍を今回以降使用する。（湿展性改善） *紅りょうぜん・秋姫・菅野中生で黒斑病（かいよう病）の発生がある場合は、バリダシン液剤 5 の 500 倍（14 日前、4 回）又は、スターナ水和剤 1000 倍（7 日前、3 回）を散布する。		

《プルーン》

・散布時期：	6 月中旬	（6 月 15 日～6 月 19 日頃）	
・散布薬剤：	水	100ℓ当り	・散布日 6 月 日・散布量 ℓ
	展着剤	10ml	
	フリントフロアブル 25	50ml	（収穫前日、2 回以内）
	●ダースバン DF	33g	（14 日前、2 回以内）
	●バリアード顆粒水和剤	50g	（収穫前日、2 回以内）
・対象病害虫：	灰星病（炭そ病）、アブラムシ類、シンクイムシ類、ウメシロカイガラムシ		
・散布量：	10a 当り SS500ℓ 動噴 600ℓ （散布むらのないよう、十分に散布する）		
・注意事項	*フリントフロアブル 25 に代えてナリア WDG2000 倍（前日、2 回）でもよい。 *シンクイムシ類の発生園は定期防除間に●イカツチ WDG1500 倍（前日、2 回）を散布する。		

<<ブルー>>次回の散布

・散布時期：	6月末～7月上旬	(6月29日～7月3日頃)	
・散布薬剤：	水	100ℓ当り	・散布日 月 日・散布量 ℓ
	展着剤	10ml	
	フルーツセイバー	66ml	(収穫前日、3回以内)
	●バイスロイドEW	33ml	(収穫14日前、2回以内)
・対象病害虫：	灰星病・アブラムシ類・(シンクイムシ類)・(カメムシ類)		
・散布量：	10a当り SS500ℓ 動噴 600ℓ	(散布むらのないよう注意する)	
・注意事項			
＊	果実病害の重要な時期であるので、果実にかかるよう十分散布する。		
＊	ハダニ類の発生園がある場合は、ダニグッターフロアブル2000倍(前日、1回)を加用散布する。		
＊	フルーツセイバーに代えてロブラル水和剤1000倍(前日、3回)でもよい。		

2. 今後の管理

- ＊徒長枝の整理を実施しましょう。
- ＊主枝、亜主枝の先端が下がってきた場合、支柱立て、枝吊りを実施しましょう。
- ＊園地の除草を徹底し、コスカシバ、シンクイムシ類対策も含め園内はたえずきれいにしておきましょう。
- ＊引き続き着果量、位置の見直しを実施しましょう。
- ＊笠掛け(貴陽・太陽・シナノパール)裂果対策として6月下旬を目安として実施しましょう。

●写真：プラム黒斑病(かいよう病)

特に、紅りょうぜん・菅野中生・秋姫で、発生が心配される園地は
 継続防除の徹底を図りましょう！



(7月収穫品種、収穫開始予想)	プラム・プル - ンは、気象条件だけでなく、樹体の状態により、収穫開始状況が変化しますのであくまで目安です。
・大石早生	- 6月30日頃
・紅りょうぜん	- 7月16日頃
・サントス	- 7月21日頃
・菅野中生	- 7月20日頃
・ソルダム	- 7月26日頃
・サマ - エンジェル	- 7月30日頃